

ウツディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



ハンノキを家具に
「大雪の大切プロジェクト」から生まれたこと

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第68巻・通巻792号

目 次

ハンノキを家具に 「大雪の大切プロジェクト」から生まれたこと……………	1
都心における建物への木材利用 —みなとモデルが繋ぐ都市と森— ……………	4
<hr/>	
※木質燃焼灰の有効利用について ……………	9
※コンテナ苗運搬機による植栽作業の省力化……………	11
※木質材料のホルムアルデヒド放散測定……………	13
※Q&A先月の技術相談から 〔カラマツを使った柵や塀は屋外で何年くらい保ちますか?〕…	15
※行政の窓 〔令和元年度北海道の木材関連施策について〕……………	16
※林産試ニュース……………	17

※：林産試日より2019年8月号からの転載
((地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾)



北見市立 若松小学校 北見市若松

若松小学校は、平成7年2月に校舎が建て替えられました。

豊かな自然に囲まれた若松にふさわしく、構造材や内外装材には多くの木材が使用されています。また、「小鳥」をイメージして、屋根がクチバシで窓を眼に見立てたシンボリックな意匠になっています。